

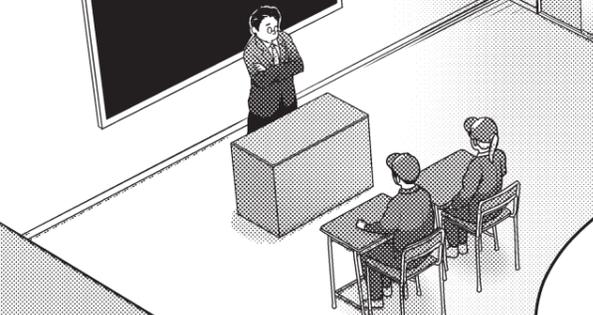
まんがでわかる



日本語
にほんご

自動車整備業の安全衛生





今日は自動車整備業の
安全衛生について
学んでいくよ。

車に乗る人の
安全を守る
カッコいい仕事よね。

そうだね！

それにしても
自動車整備の
お仕事って
沢山あるんだね。

気になるわね。

じゃあ
労災の発生状況
を見ていこう！

はい！

労災の主な原因は、
こんなふうになっているよ。

労災の発生件数

1	墜落・転落	110人
2	はさまれ・巻き込まれ	102人
3	転倒	79人
4	飛来・落下	56人
5	動作の反動・無理な動作	54人

参考：中央労働災害防止協会
『労働災害分析データ / 自動車整備業 (H30)』 (2019年8月)

「墜落・転落」や
「はさまれ・巻き込まれ」が
多いんだね。

そうなんだ。

例えば
「はさまれ・巻き込まれ」
の場合、

足廻りの点検中、
別の整備士がリフトを下降させ
足がプレートにはさまれたり

エンジンルームの点検中、
別の整備士がエンジンを始動して
回転体（ファンベルト）に巻き込まれたり
といった事故が起こっている。

扱うものが自動車だからこそ
大ケガにもつながりかねないわ。

事故の背景には
整備士同士の
コミュニケーション不足も
あるようだよ。

いつも一緒に
作業してるから大丈夫だと
思ったのかな。

そうかもしれないね。
でも安全に作業するためには
声掛けがとても大事なんだ。

なるほど。

でも毎回報告し合うのは
ちょっと面倒くさいかも…

ん？

ちょっとでも
異変が起きたときは
絶対に報告だからな！

は、はいはい！

アホ…

また現場では、
引火しやすいパーツクリーナーや
ガソリンを使用したり、



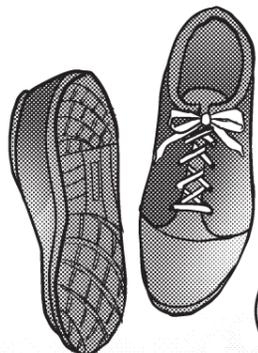
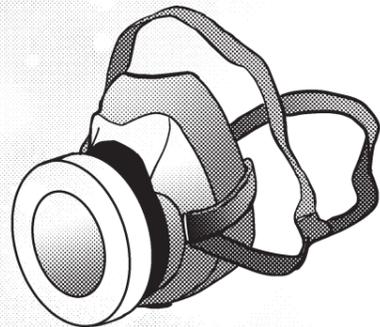
高温火傷の危険性がある
エンジンルームを点検したりするから
常に注意が必要だ。

特に引火は
大事故にもつながるから
危険ね！



だから安全に
作業するためにも

ルールで定められた
アイテムを準備し、



正しく装着してから
作業を行ってほしい。

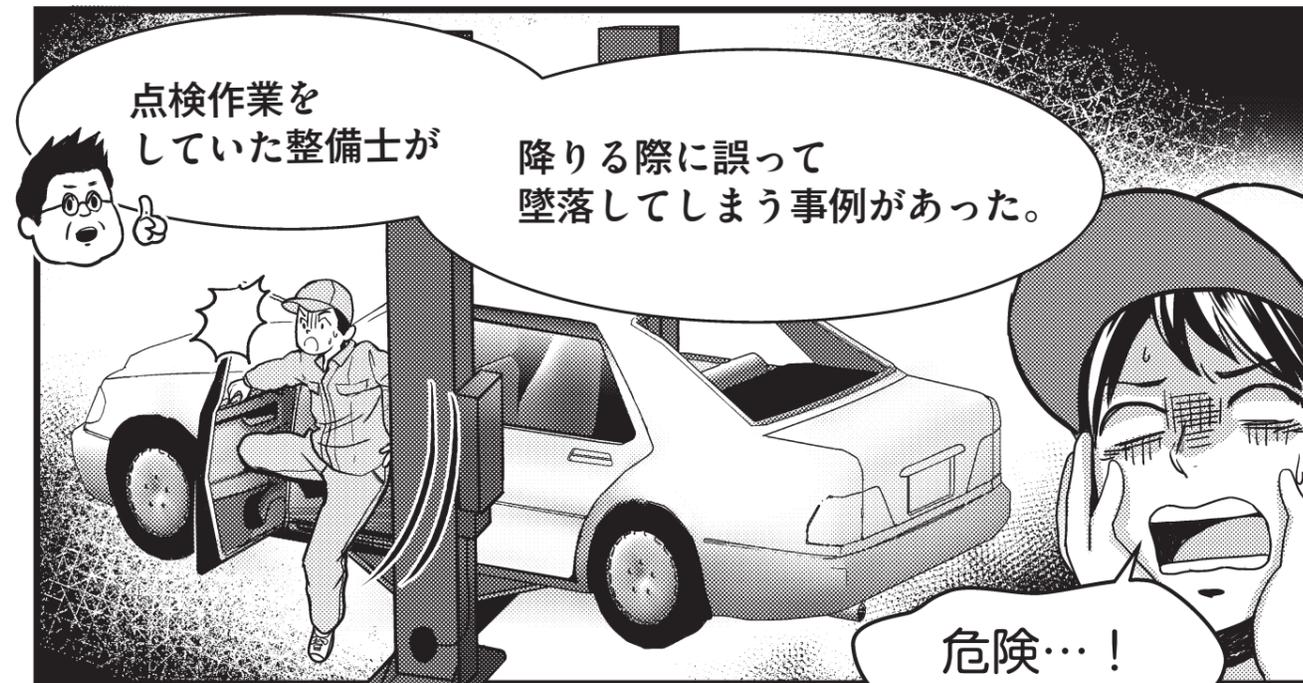
「墜落・転落」には
どんな労災例がありますか？



点検作業を
していた整備士が



降りる際に誤って
墜落してしまう事例があった。



危険…！

それじゃあ、



カチッ…

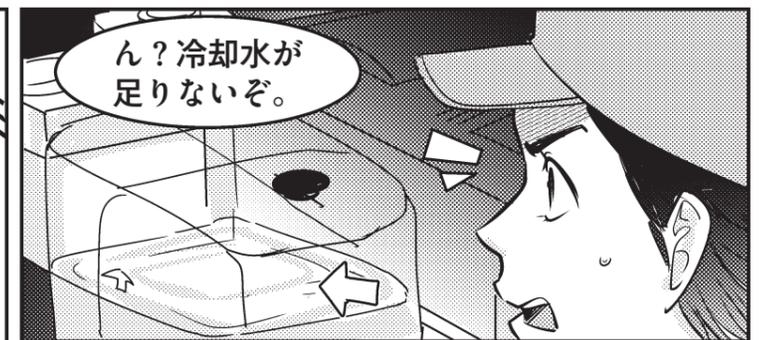
実際の現場を

見てみよう！

1

CASE 1: はさまれ・高温物の注意

(車検時の作業・エンジンルーム編)



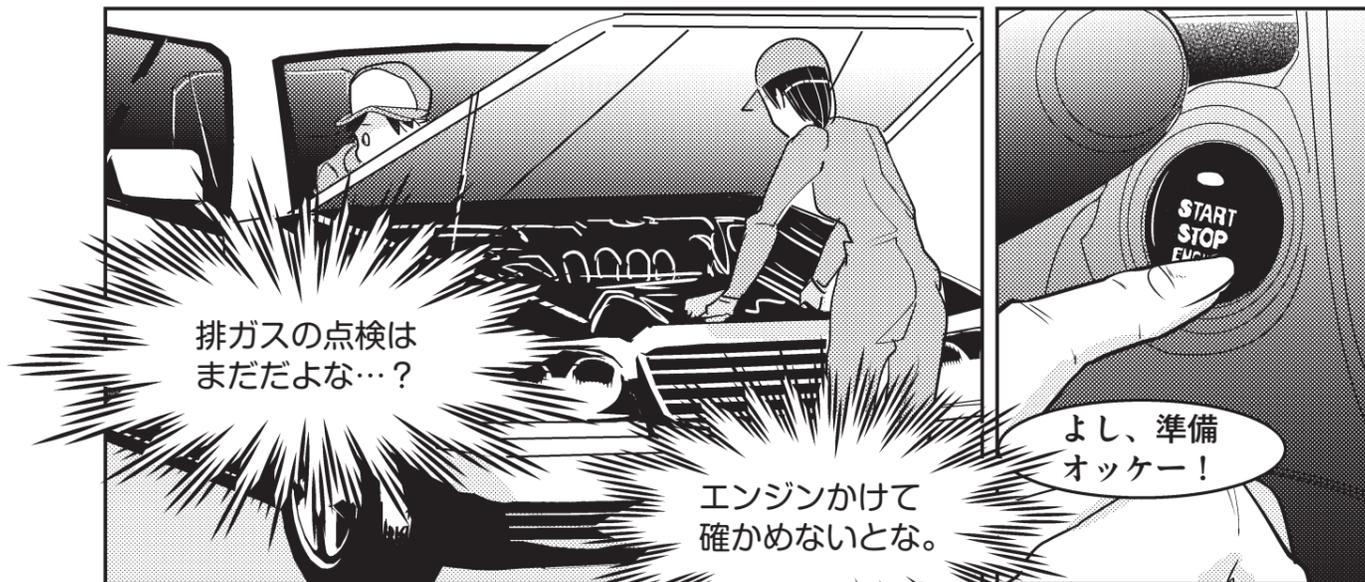


熱い!!!



どうしたの!?

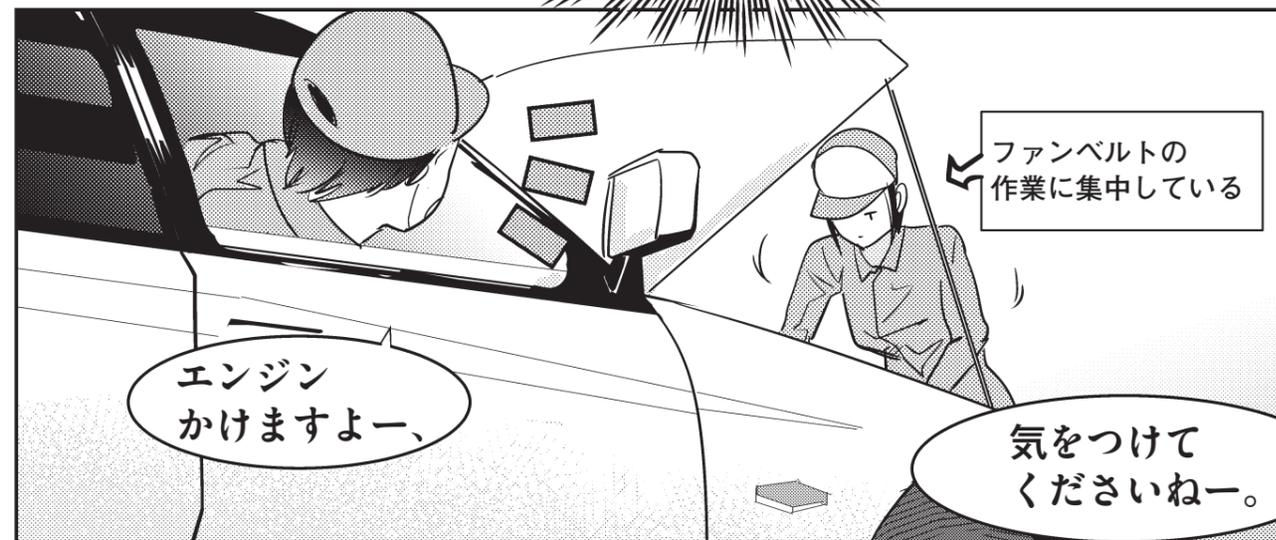
冷却水がまだ熱かったみたいで…。



排ガスの点検はまだだよな…?

エンジンかけて確かめないとな。

よし、準備オッケー!



ファンベルトの作業に集中している

エンジンかけますよー、

気をつけてくださいねー。



ラジエーターキャップを開ける時は気をつけてね。

残りは私にまかせて。

はい… 申し訳ありません…。



あーせっかくまかせてもらえたのに。



…いや 気を取り直してできることをやろう。



エンジン始動!

Switch ON!



えっ…。



動いた!?



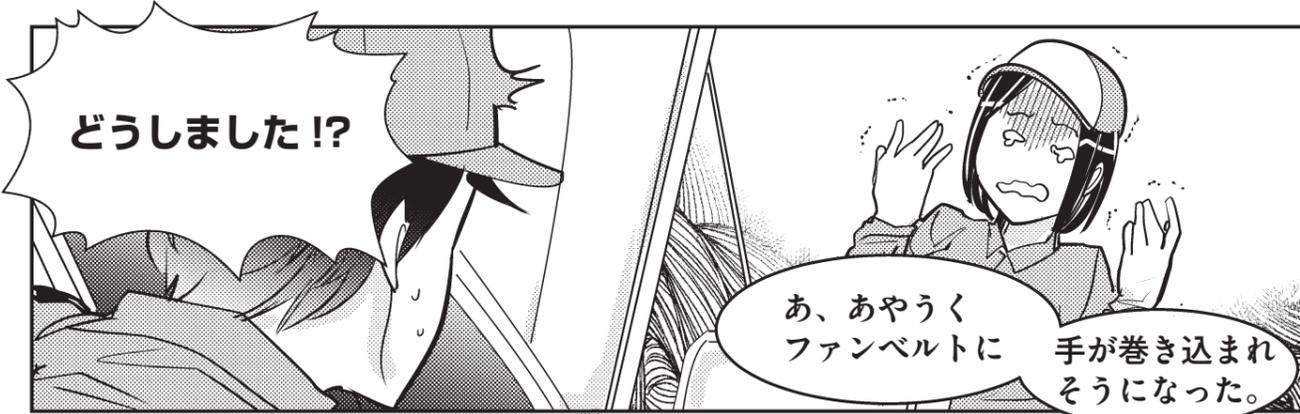
きゃあああ!?



冷却水を吹き出させて危なっかしいし、

作業中に突然エンジンをかけたんですよ!

声掛けはしたんですけど…。



どうしました!?

あ、あやうくファンベルトに手が巻き込まれそうになった。



…冷却水が高温高压だと飛び出るから

冷却水が冷えるのを待て。



意思疎通

声掛けしたって伝わったことを確認できなきゃ意味ないぞ。



注意されたからって仕返し?

いやいやいやまさか!?



どうした?



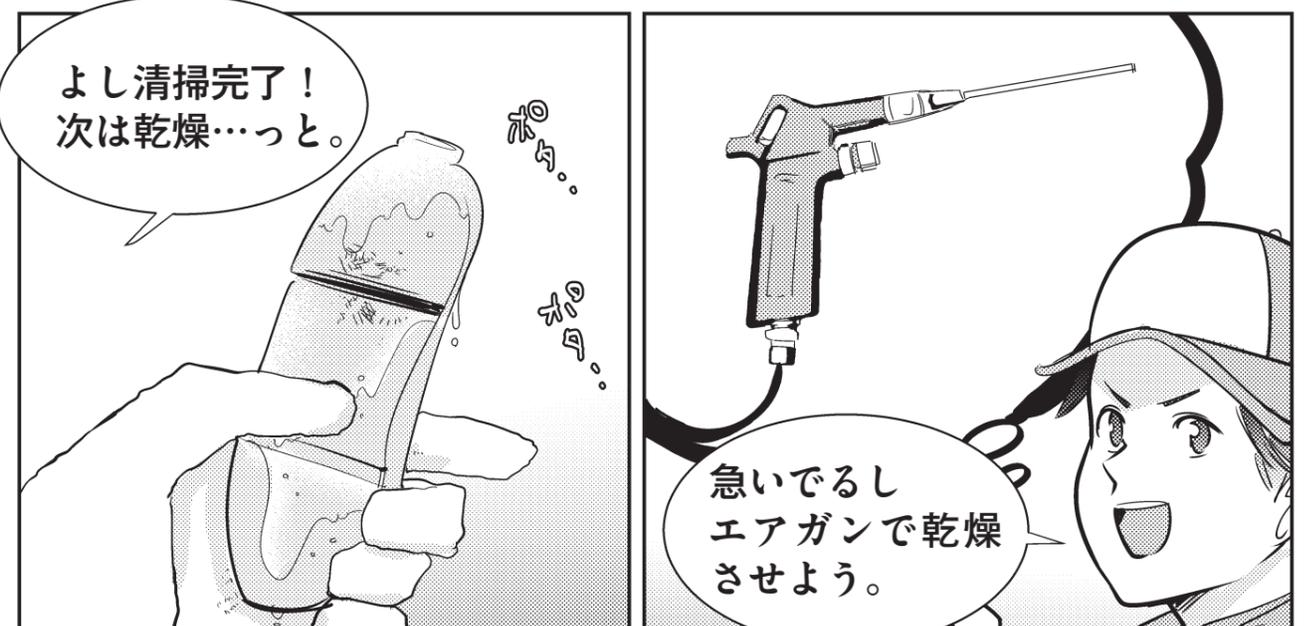
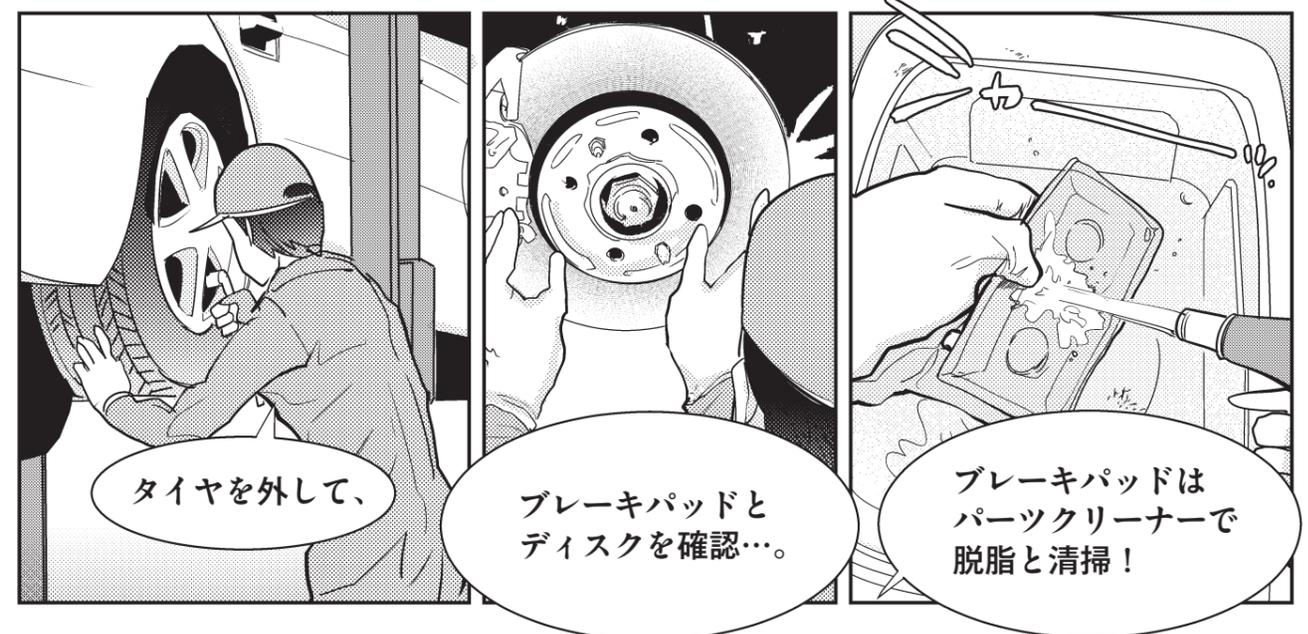
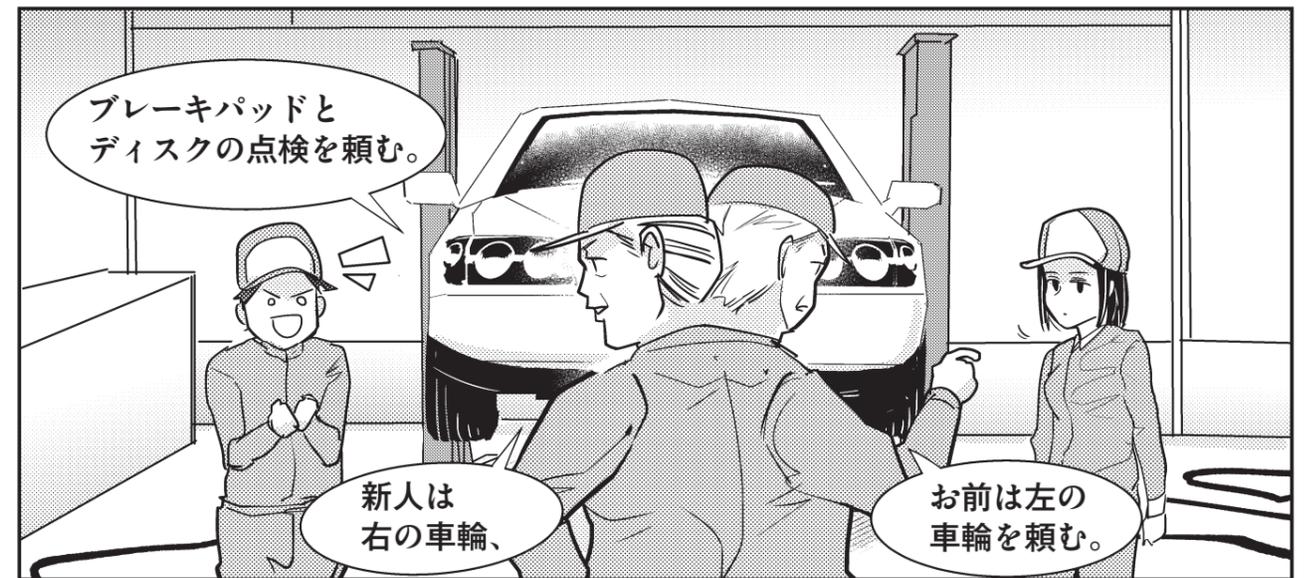
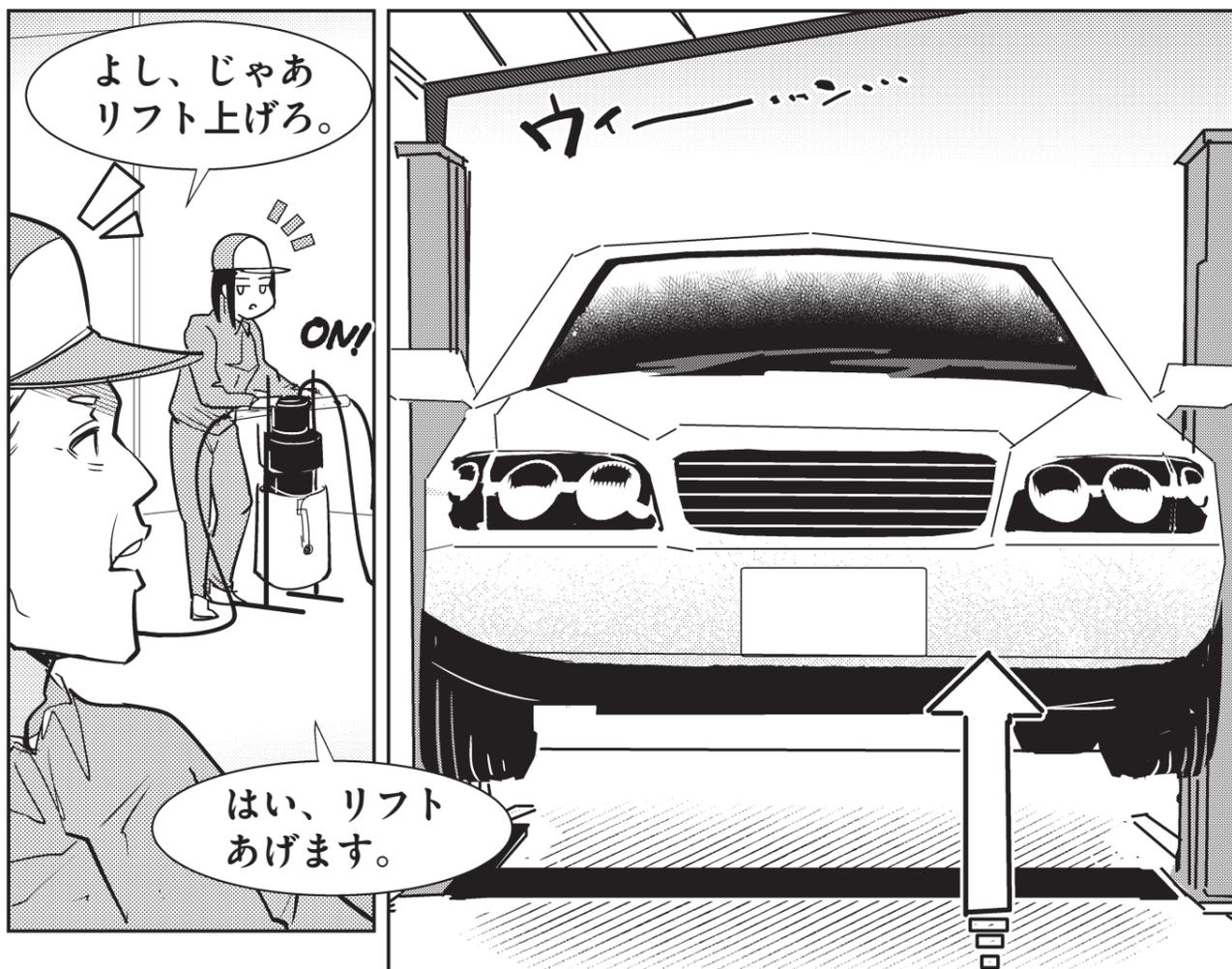
自分から考えて動いたのは立派だが

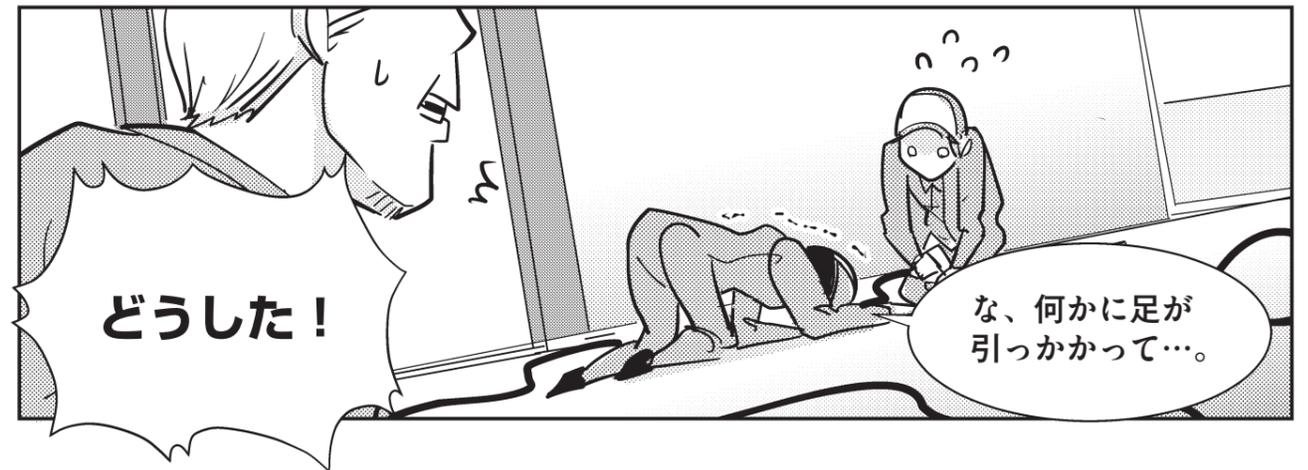
焦らず、確実に作業してくれな。

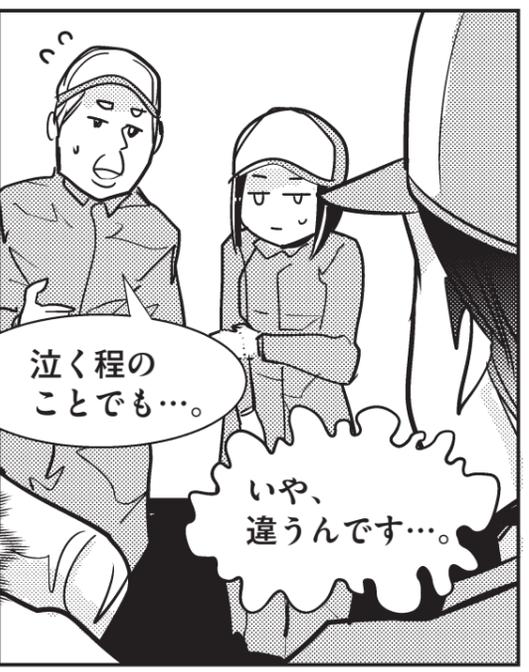
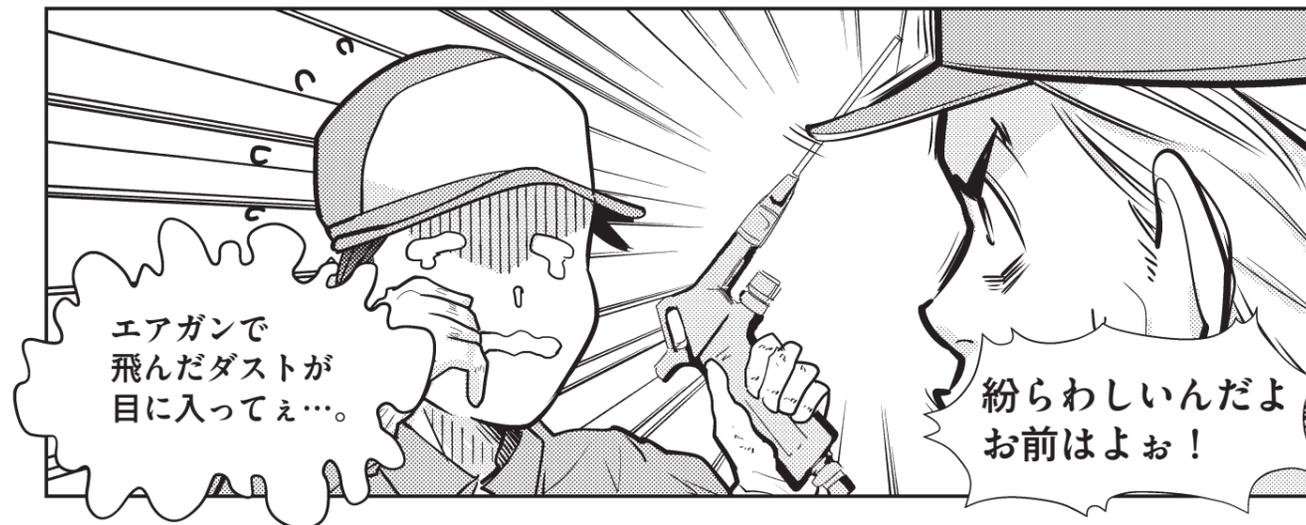
それから新人君は、何をするにも確認して作業するようになった。

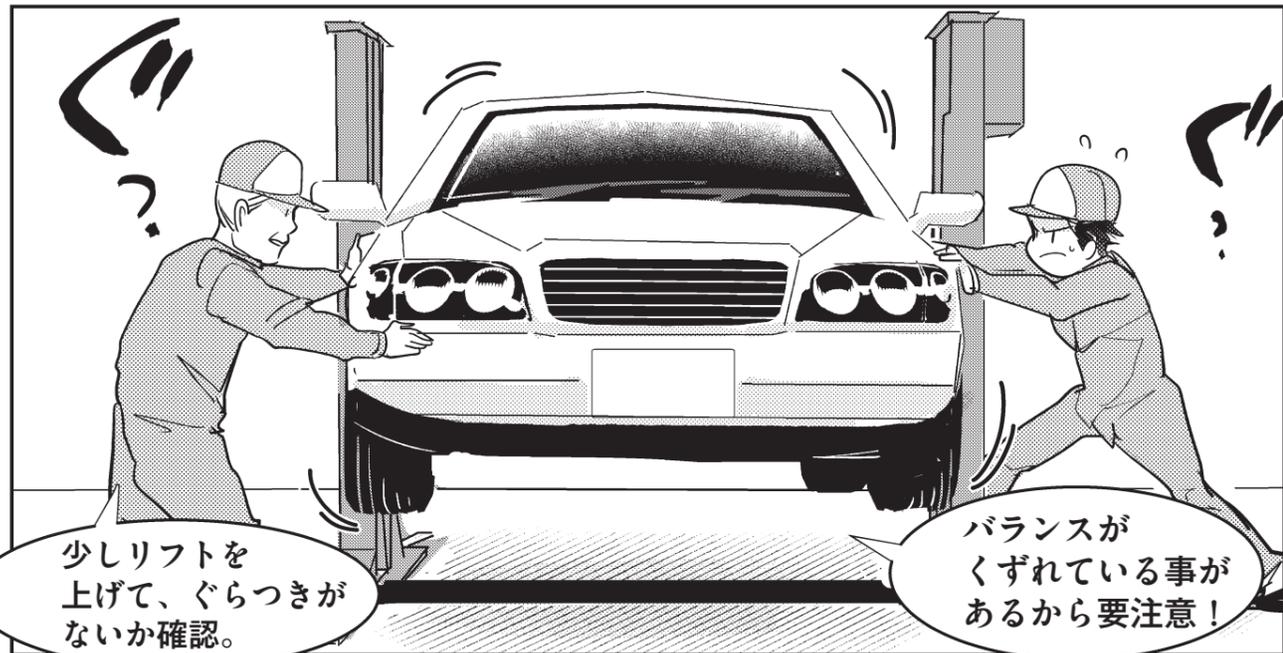
CASE 2：飛来・転倒の注意

(車検時の作業：足廻り下廻り編)









少しリフトを上げて、ぐらつきがないか確認。

バランスがくずれている事があるから要注意!



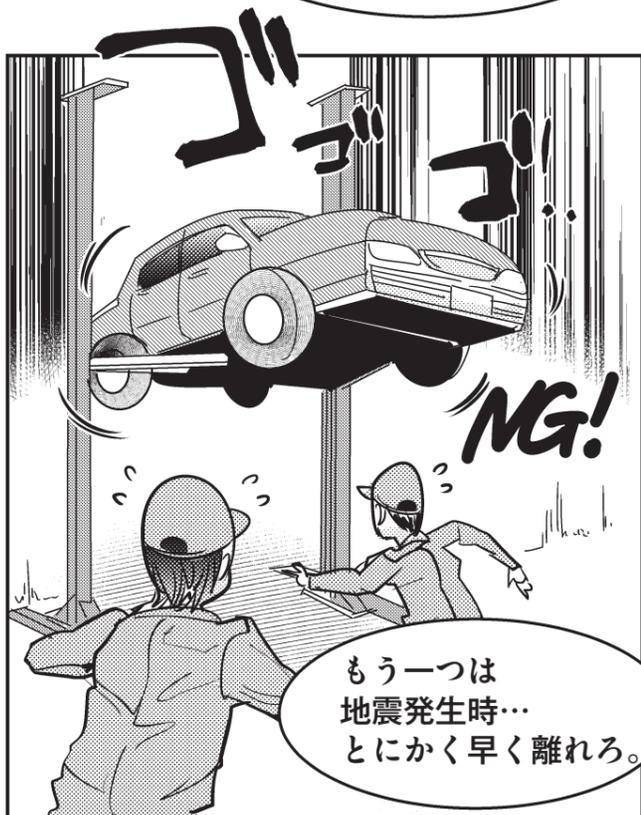
後はそのまま上げれば終わりだが、

「やっちゃいけない」事もあるから言っとくぞ。

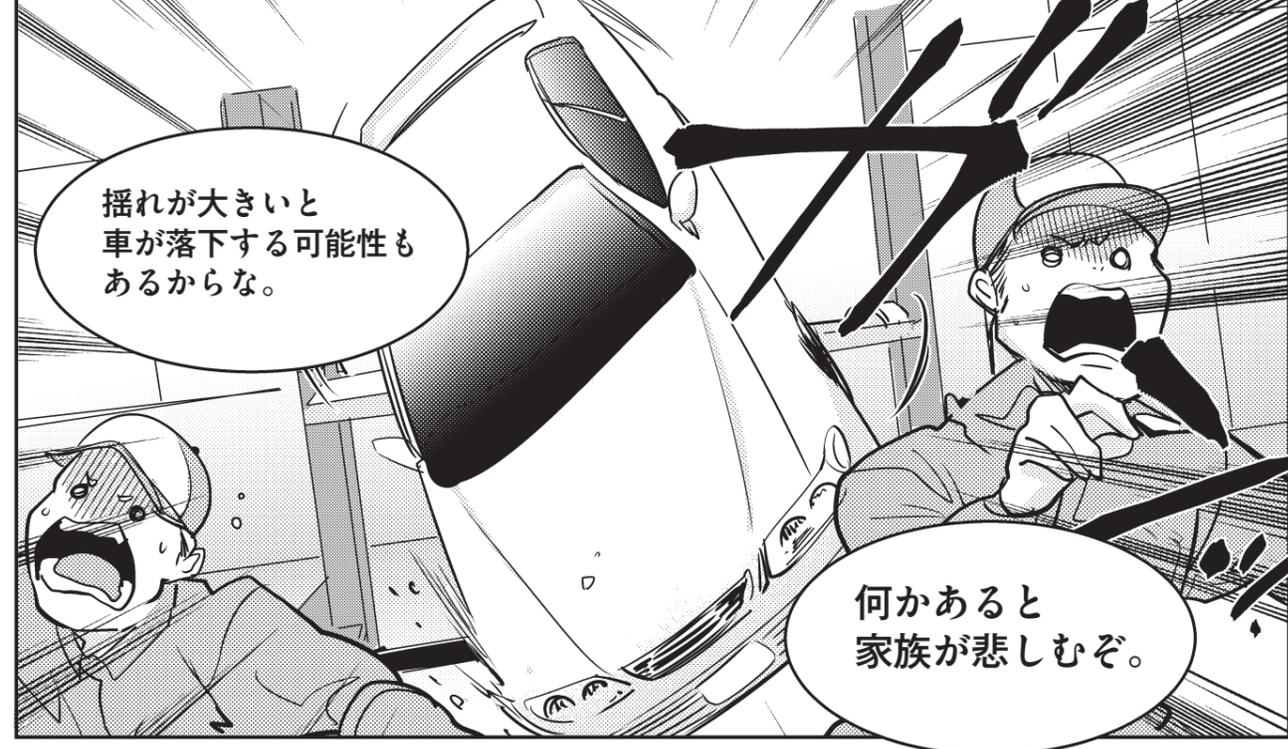


「片上げ」は厳禁! 前輪も後輪もな

落ちる可能性もあるしリフトに過度の負担がかかるんだ。



もう一つは地震発生時…とにかく早く離れる。

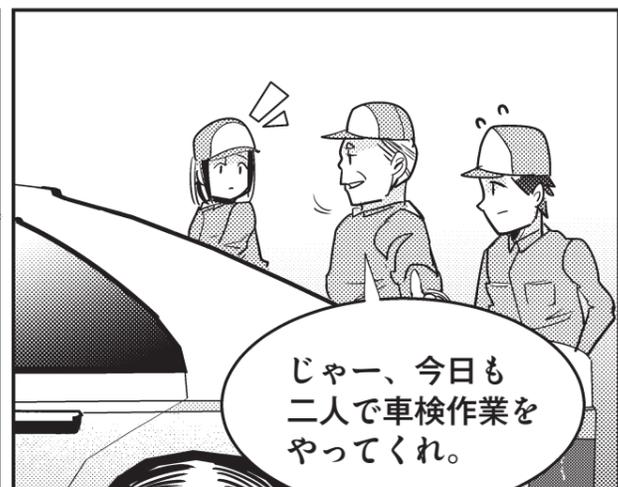


揺れが大きいと車が落下する可能性もあるからな。

何かあると家族が悲しむぞ。



主任ありがとうございます!



じゃー、今日も二人で車検作業をやってくれ。



よしエンジンルームは点検終了。



リフトをあげて、

足廻りと下廻りの確認だ!



確認一つ
忘れただけで車が
落ちることもある。

慎重に
作業をしなきゃ…!



よっっし…
完璧…。



はあー、無事に
終わった…。

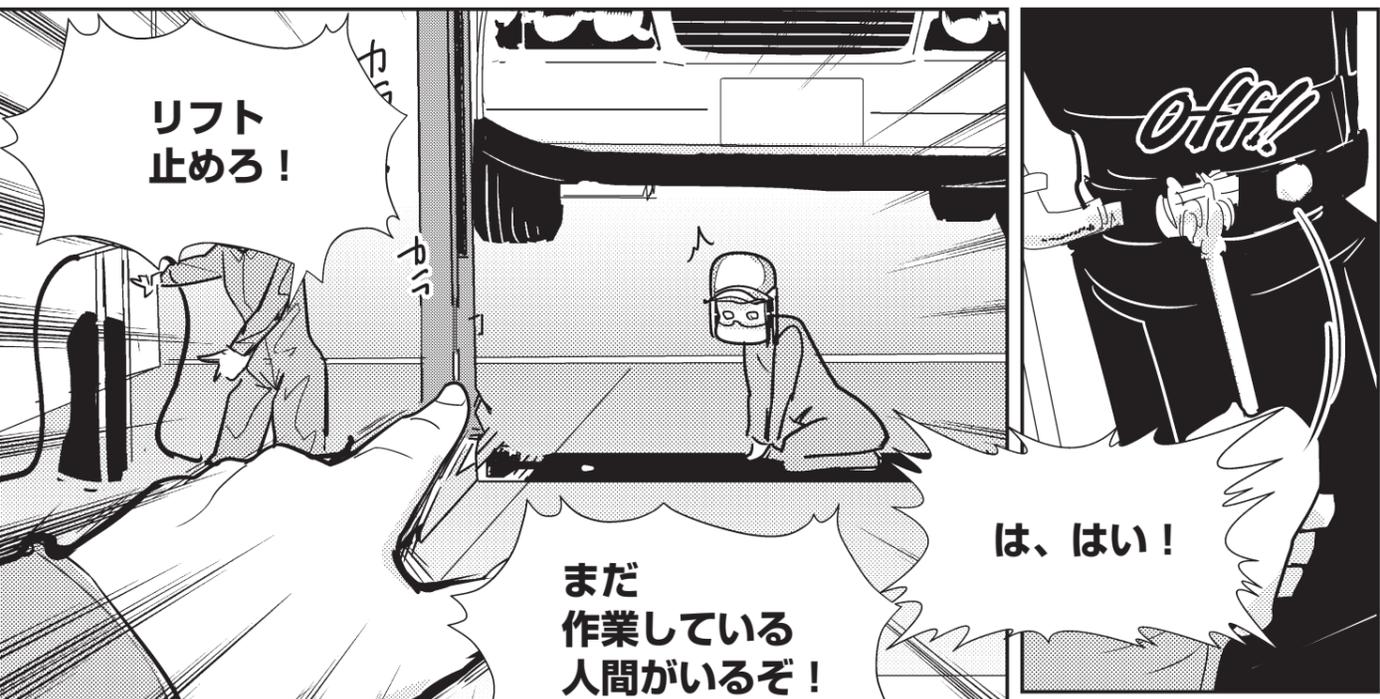
おい!!



作業が終わって
気を抜いてたな!

リフトを
下ろす時には
声がけしろ!

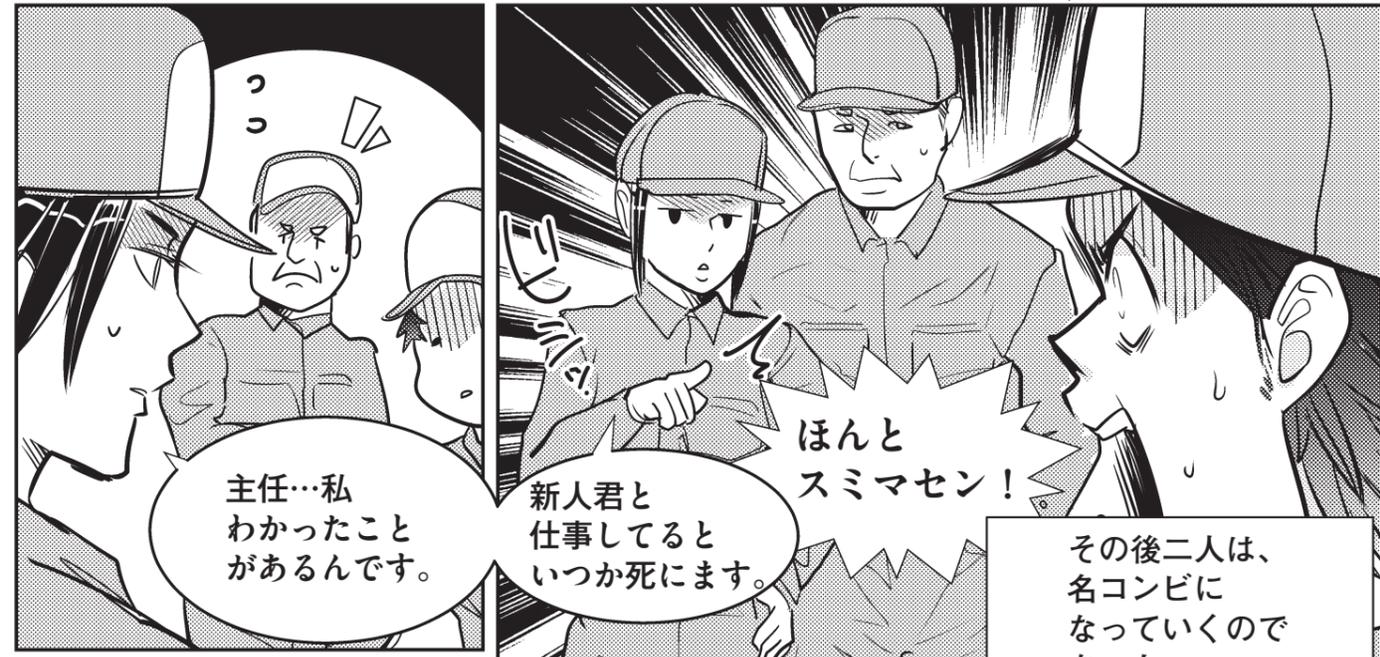
お前も
下廻りで
作業する時は、
周囲に声がけ
するのが鉄則だ



リフト
止める!

まだ
作業している
人間がいるぞ!

は、はい!

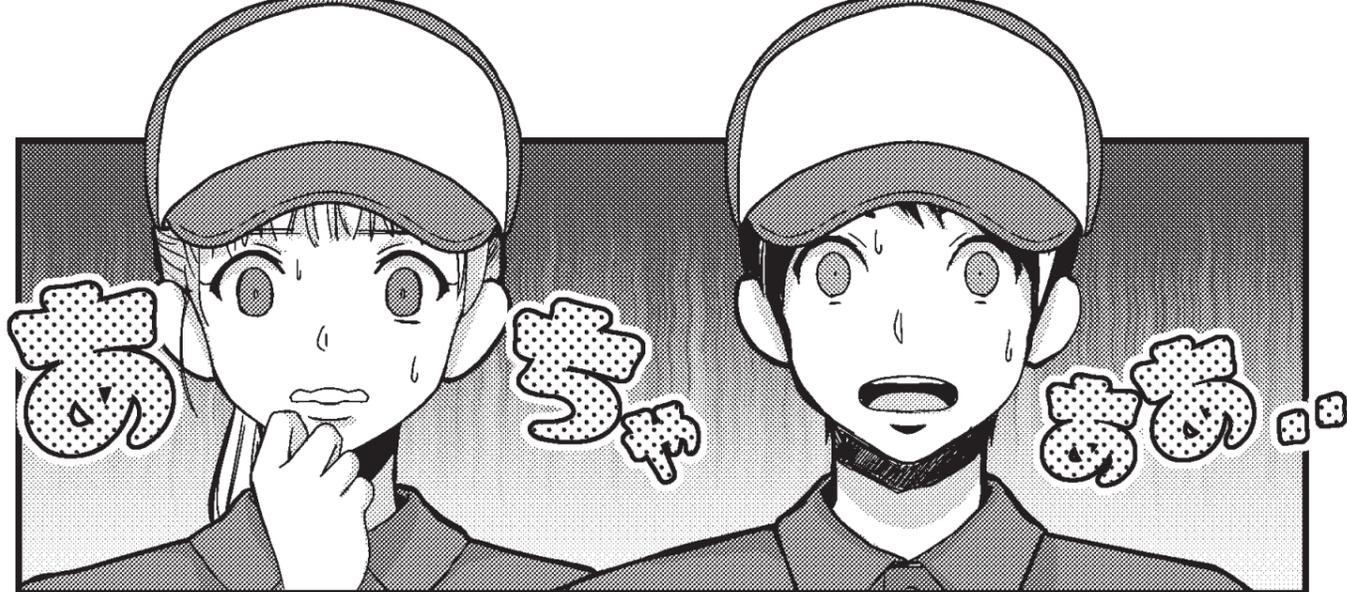


主任…私
わかったこと
があるんです。

新人君と
仕事していると
いつか死にます。

ほんと
すみません!

その後二人は、
名コンビに
なっていくので
あった。



自動車整備業で気をつけたいポイント



1 | 火傷



2 | はさまれ・巻き込まれ



3 | 飛来



4 | 転倒・転落



労災は決して他人事ではなく身近な問題だ。



ルールを守ることは「身体」「家族」「生活」を守ることだと覚えておいてほしい。

何かあったときのために、日頃から職場でのコミュニケーションも大切よ。



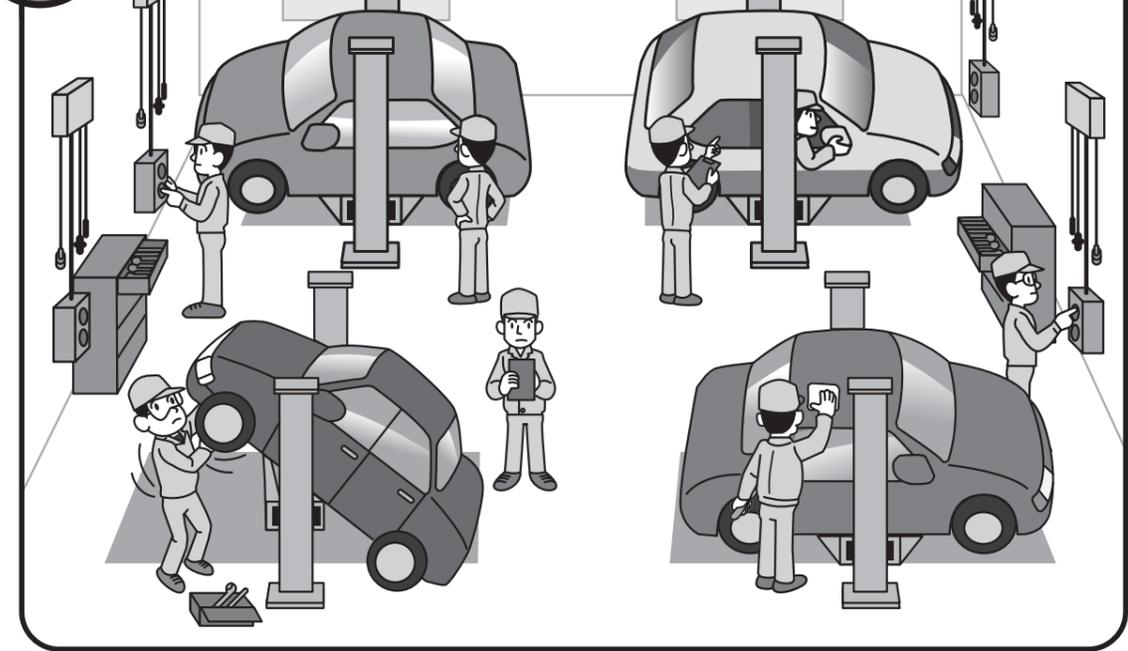
よし！ 労災に気をつけて毎日がんばるぞ！



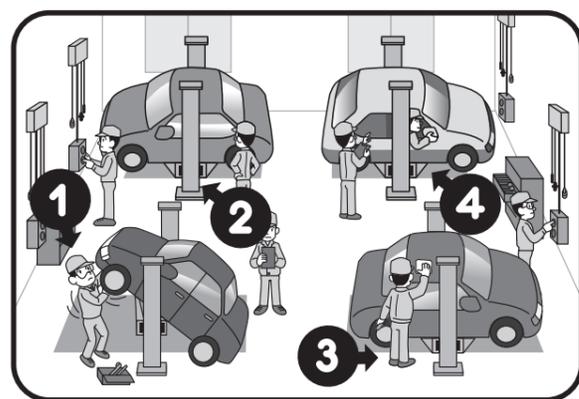
イラストで学ぶ

職場の作業の中に潜む危険を知ろう！ 危険予知訓練 (KYT)

Q どこが危険か考えてみよう！



A ここが危険のポイント！



- 1 リフトは正しい方法で使用すること
- 2 リフトアップ前にくらつきを確認
- 3 下降しているリフトに近づかない
- 4 リフトアップされた自動車には乗らない

ほかにも危険なポイントがないか考えてみましょう。



まんがでわかる
自動車整備業の安全衛生

2020年3月発行

発行：厚生労働省

企画：みずほ情報総研株式会社

協力：労働安全衛生教材作成推進委員会、

自動車整備業に係る安全教育教材作成ワーキング

制作：株式会社サイドランチ

本資料に関するお問い合わせ
厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 安全課